




単元の目標

家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに助け合っていることが分かる。 (知識及び技能の基礎)
家庭における家族のことや自分でできることなどについて考え、実践したことをまとめたり表現したりできる。 (思考力、判断力、表現力等の基礎)
自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

指導のポイント（太字は、主体的・対話的で深い学びに関わる活動）


児童が関心をもちやすい**体験活動**を効果的に取り入れながら学習を進める。まずは学校で友達と一緒に家庭の仕事を体験することで児童は学習の見通しをもち、活動する楽しさを味わう。そして家庭で取り組んだ後にその様子を発表することで、他の仕事にも興味をもったり、もっと自分の家庭のことを知りたくなったりして、新たな思いが生まれ活動が持続発展する。体験活動の後には必ず**振り返り**の時間を設ける。自分の経験したことを踏まえて、さらに自分はどうなりたいのかという願いをはっきりさせ、到達できたか振り返ることで自己を見つめ直すことができる。また、感じたこと等を友達同士や学級全体で**伝え合う**ことで、自分では気付かなかった成長に気付くことができる。

単元の指導計画

	児童の学習活動	指導上の留意点
1 2 3	自分の1日を振り返りながら自分でできることを考え、計画を立てて実践し、振り返る。	自分のことを自分ですることによって、家族からもらった様々な喜びの声を出し合ったり、できた時の気持ちを交流させたりすることで、夏休みに取り組むお手伝いへの意欲を高める。
4	夏休み中にお手伝いにチャレンジし（宿題）、夏休み明けに家族のにこにこ発表会を行う。	家族の笑顔を増やすために、家族の一員として自分にできることを考えさせる。夏休みに取り組んだお手伝いの経験を交流させたり、いろいろなお手伝いがあることに気付かせたりすることで、学習意欲を高めていく。
5 6 7	挑戦してみたい家の仕事を学校で体験し、感じたこと等を交流する。 	やってみたい仕事ごとにグループに分かれ、友達と一緒に体験させる。体験後は、疑問や感想を交流させ、家庭で目的意識をもって取り組めるようにする。  

8 9	<p>「にこにこだいさくせん（パートⅠ）」に取り組んだ後、「にこにこさくせんかいぎ」で1週間取り組んできたことを振り返り、発表する。</p>	<p>お仕事をすることによって見られた家族の笑顔から、どんな気持ちになったかを振り返らせる。その際に家族の喜び様子を絵に描かせたり、意見を交流させたりする。</p>
10	<p>「ようこそ！おしごと名人」で、保護者に仕事をする様子を見せてもらう。</p> 	<p>慣れた手つきを間近で見せてもらうことで、毎日すると手早く上手にできることに気づき、家庭での実践に意欲をもたせる。</p>  
11 12	<p>自分の家の仕事について発表する。</p> <p>くつならべ</p> 	<p>家庭によって順番や方法に違いがあり、それはそれぞれのよさであることに気付かせる。また、友達の内している仕事の様子を見ることによって、友達の頑張りに気付かせたり、次の取組への意欲を高めたりする。</p> <p>お米どぎ</p>  <p>洗濯物たたみ</p> 
13 14 本時	<p>「にこにこだいさくせん（パートⅡ）」に取り組んだ後、「にこにこさくせんかいぎ」で1週間取り組んできたことを振り返り、発表する。</p>	<p>1回目と比べてどうだったかを考えることで、自分の成長にも気付くことができるようにしたい。また、毎日仕事をしてきている家族に対してどんな気持ちになったか出し合う。</p>
15 16	<p>家族の笑顔やこれから頑張りたいことについてまとめ、発表し、感謝の手紙を書く。</p>	<p>これから頑張ることについては、家の仕事に限定せず、家族団欒のなかよしの笑顔や、自分の成長を喜んでもらうすごいねの笑顔につながる活動にも広げて考えさせる。</p>

## 展開例（本時 14 / 16）

本時の目標		仕事をした時の家族の笑顔を思い出し、もっと笑顔が増やせることはないか考えることができる。	
児童の学習活動		指導上の留意点	
導入	○本時の活動を確認する。	かぞくのえがおを みんなにつたえよう	
	○家族の笑顔を思い出してワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「にこにこだいさくせん！」を振り返って、おうちの人からの一言をもとに、おうちの人笑顔になってくれた場面を思い出すよう声かけをする。</li> </ul>	
			
展開	○隣同士で書いたことを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何をしたら、笑顔になってくれたのか、その時、家族は何と言ってくれたのかについて交流し、その時の自分の気持ちも付け加えて話すように伝える。</li> </ul>	
	○ワークシートに書いたことを学級全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣の児童に話したことを全体の場で発表したらよいことを伝える。またテレビに児童のワークシートを映して児童の思いを共有しやすいようにする。</li> <li>・自分が仕事をしたことによって家族が笑顔になったことを伝え合いの中で気付かせ、次の活動に意欲をもたせる。</li> </ul>	
まとめ	○友達の発表を聞いて感じたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの家族の笑顔と友達の嬉しそうな感想を聞いて、それらを認めながら、さらに家族の笑顔を増やすために自分はどうしたいか考えさせる。</li> </ul>	